

小俣図書館 図書館行事 ご案内

おはなし会 1階・おはなしのへや
9月 12日(土) たんぽぽ読書おはなし会、午後3時~
20日(日) ピッポの会・紙芝居、午前11時~

★「赤ちゃんおはなし会」 1階・おはなしのへや

9月10日(木) 午前11時~

◆映画上映会 2階 視聴覚室

9月19日(土) 午後2時~

「殯の森(もがりのもり)」

2007年 日仏合作 《上映時間 97分》

★ 図書館おはなし会&工作教室

(日時) 9月26日(土) 午後3時~
(対象) 3歳~小学生 (工作教室では、就学前の子どもは保護者同伴)
(内容) おはなし会の後に、手袋を使って簡単なうさぎを作ります。参加自由です。

読書感想画展

(日時) 9月23日(水)~10月5日(月)
(時間) 午前9時~午後7時(最終日は午後3時まで)
(内容) 読書感想画を展示します。
(場所) 2階・ギャラリー

開館時間 月・水・木・金・土・日 午前9時~午後7時
休館日 毎週火曜日
第2金曜日、年末年始、特別整理期間

貸出 1人10冊2週間以内
(10冊のうち雑誌は5冊まで)
1団体50冊1ヶ月以内
(50冊のうち雑誌は25冊まで)

小俣図書館カレンダー

Calendar for September and October showing dates and library closure periods.

◎10/6~15まで特別整理期間のため休館です。

ボランティア養成講座

(日時) 9月25日(金) 午後1時~3時
(内容) ボランティアを目指す人のための、わらべうたを中心とした講座です。
(講師) 山口 陽子さん(元愛知県美和町図書館司書)
(定員) 30名(先着順)
(場所) 2階・会議室
(申し込み) 9月2日(水)から、直接小俣図書館へ(電話可)

◆不用図書の募集◆

10月23日(金)まで、古本、古雑誌リサイクルフェア(10/24~25)に出す図書(雑誌、百科事典、全集を除く)を受け付けています。
家庭で不用になった図書を小俣図書館へ持参してください。

伊勢図書館 図書館行事のご案内



おはなし会

毎週土曜日 午後2時30分~
1階・おはなしコーナーにて

毎週、絵本の読み聞かせをやっています

9月 5日/おにいさん、おねえさんによるおはなし会
9月12日・19日・26日/おはなしプーさんによるおはなし会



「あかちゃんえほんのじかん」

(日時) 9月24日(木) 午前11時~ 2階・視聴覚室
(内容) あかちゃんむけの絵本の紹介や手遊びなどをします。



映画上映会

9月13日(日) 午後1時30分~ 2階・視聴覚室
「第六十二回 神宮式年遷宮 御木曳篇」

《上映時間 45分》

開館時間 月・火・木・金・土・日 午前9時~午後7時
休館日 毎週水曜日
第2金曜日、年末年始、特別整理期間

貸出 1人10冊2週間以内
(10冊のうち雑誌は5冊まで)
1団体50冊1ヶ月以内
(50冊のうち雑誌は25冊まで)

伊勢図書館カレンダー

Calendar for September and October showing dates and library closure periods.

おとなのためのブックトーク

~社会の閉塞状況に立ち向かう読書~

とき 10月4日(日) 午後2時30分~3時30分
ところ 2階・視聴覚室
内容 モラルの崩壊どころか、価値の顛倒などすべてが音をたてて崩れている世相に抗する読書について考えます。
講師 高田尚文さん

(講師プロフィール)
立命館大学を卒業後、滋賀県立図書館、堺市立図書館に勤務。元伊勢市立伊勢図書館長。

定員 50名程度(先着順)
申込 9月19日(土)から
図書館カウンター、電話、FAXにて

# 本のごあんない

## [一般書] 「ほっとひといき お茶巡り」

古来より日本人と深い関わりのある「お茶」・・・

でも「お茶」と一口にいても世界には色々な種類があります。世界のお茶で寛ぎタイムはいかがでしょう。

それでは皆様、「ちょっとお茶でも」

- ◎ バター茶をどうぞ 蓮華の国のチベットから (渡辺一枝／著 クンサン-ハモ／著 文英堂)
- ◎ 知識ゼロからの健康茶入門 (藤田紘一郎／監修 幻冬舎)
- ◎ ハーブティー事典 108種の効能から味・香り利用法まで解説！自然の恵み、植物のチカラで健康になる！ (佐々木薫／著 池田書店)
- ◎ こころとカラダに美味しい茶葉料理 76 いつものお茶をまるごと味わうレシピ (有本香／著 インフォレストローカス)
- ◎ 決定版お茶大図鑑 日本茶・紅茶・ハーブティー・中国茶・健康茶・コーヒーのすべて (主婦の友社／編 主婦の友社)
- ◎ アジアンティーの世界 さあ、お茶にしましょう (平野久美子／著 河出書房新社)
- ◎ 台湾茶話 (伊藤ユキ子／著 JTB)
- ◎ 紅茶の教科書 (磯淵猛／著 新星出版社)
- ◎ 心と体に効くお茶の科学 (小国伊太郎／総監修 ナツメ社)
- ◎ 茶道ハンドブック 茶道のすべてがわかる小事典 (田中仙翁／著 三省堂)

★ 伊勢・小俣図書館のどちらかに所蔵がある本です。ご利用館にない場合は、予約ができます。



## [ふるさと文庫] 二見浦―「清き渚」

一蛤のふたみに列行秋ぞー

言わずと知れた、松尾芭蕉『おくのほそ道』の巻末句です。

芭蕉は、『おくのほそ道』終着地点・美濃大垣にて、見送ってくれる人々と別れ、伊勢の二見浦を見に旅立ちます。

なぜ、芭蕉は、結びの句に二見を選んだのでしょうか。

二見浦の名の由来は、一説に、倭姫命が天照大神の鎮座地を求めて諸国を巡幸した折、この地の美しさに二度振り返り見たためとも言われます。

二見浦の象徴・夫婦岩は、沖合660mの海中に鎮まる興玉神石(猿田彦大神ゆかりの霊石)の鳥居としての役目を果たしています。

また日の出遙拝所としても名高く、夏至のころには、男岩と女岩のちょうど真ん中から朝日がのぼります。

男岩と女岩を結ぶ大注連縄は、「結界の縄」と称され、大注連縄の向こうを常世神が寄り付く聖なる場所、そして手前は俗世と区別されてきました。

9月5日には、夫婦岩大注連縄張神事が行われます。威勢の良い本遣り唄と二見太鼓が響き渡るなか、お祓いをうけた注連縄が氏子たちの手によって厳かに張り渡されます。勇壮なこの光景を見て、芭蕉ならどんな句を詠むでしょう。

- ◆ 二見浦夫婦岩の四季 日本の原風景 (伊勢文化舎 L243／フ)
- ◆ わが町二見 (二見町史編纂委員会／編 伊勢市二見総合支所 L243／ワ)
- ◆ 二見浦名勝誌 (阪本徳次郎／編 二見興玉神社々務所 L243／フ)
- ◆ 賓日館 清渚二見浦の物語 (伊勢文化舎／編 二見浦・賓日館の会 L689／ヒ)
- ◆ 二見浦物語 伊勢志摩国立公園 (二見町企画観光課／編 二見町 L261／フ)



## [児童] 夜空を見上げて ～世界天文年～



ガリレオが初めて望遠鏡を夜空へ向けてから400年、人はどのくらい宇宙へ近づけたのでしょうか。

たくさんの新しい技術を集めてつくられたすばる望遠鏡の本、星座をみつける本、星や月のでてくるおはなしの絵本・・・、世界天文年であるこの節目の年に、ちょっと夜空をみあげてみませんか？

- ★ 伝記 世界を変えた人々17 ガリレオ・ガリレイ (マイケル・ホワイト／著 日暮雅通／訳 偕成社)
- ★ 宇宙と生命の起源 ビッグバンから人類誕生まで (嶺重慎／編著 小久保英一郎／編著 岩波書店)
- ★ 宇宙探検すばる望遠鏡 (林左絵子／文 海部宣男／監修 新日本出版社)
- ★ かならず見つかる星座の本 夜空を直接手ではかる！(3) 秋の星座を手でさがそう (藤井旭／著 偕成社)
- ★ 教えて！21世紀星空探検隊 10 星空ウォッチング 肉眼でも双眼鏡でも楽しめる！ (藤井旭／著 偕成社)
- ★ 星と月のコレクション ふしぎコレクション4 (林完次／著 フレーベル館)
- ★ 宇宙への秘密の鍵 (ルーシー・ホーキング／作 スティーヴン・ホーキング／作 さくまゆみこ／訳 佐藤勝彦／監修 岩崎書店)
- ★ 空とぶじゅうたん アラビアン・ナイトの物語より (マーシャ・フラウン／再話・絵 松岡享子／訳 アリス館)
- ★ 月はどうしてできたか グリム童話より (ジェームス・リーフス／文 エドワード・アーティムニ／絵 矢川澄子／訳 評論社)
- ★ 星まつりのふしぎなふえ みるみる絵本 (川村たかし／文 石倉欣二／絵 文研出版)



## [ヤングアダルト] 音楽 ～ 楽器 ～



音楽を聞いてなつかしい気持ちになったり、楽しい気分になったりしたことはありませんか？そんな心揺さぶる音楽を奏でる楽器。楽器について知ってみると音楽の楽しみも広がってくるのでは・・・。



- 《 児童 》
- ☆ 東儀秀樹の雅楽 (小野幸恵／著 東儀秀樹／監修 岩崎書店)
- ☆ 楽器の絵本 ピアノ (クリストフ・ハイムブーヒャー／文 ハイケ・ブランゲ／絵 穴戸里佳／訳 河合楽器製作所・出版部)
- ☆ 1000の風 1000のチェロ (いせひでこ／作 偕成社)
- ☆ ワニのオーケストラ入門 絵本 (ドナルド・エリオット／文 クリントン・アロウッド／絵 芥川也寸志／訳 石井史子／訳 岩波書店)
- ☆ 世界の「楽器」絵事典 音楽がたのしくなる 歴史から音の出るしくみまで (PHP研究所／編 PHP研究所)
- 《 一般 》
- ☆ 京都音楽空間 新版 音に会える店案内 (岡田芳枝・安田洋子・中嶋桂子／編集 青幻社)
- ☆ あまネコと一緒に劇場へ行こう！ クラシック音楽から伝統芸能まで (黒田恭一／ナビゲーター 雨田光弘／絵 ネット武蔵野)
- ☆ ピアノはなぜ黒いのか (斎藤信哉／著 幻冬舎)
- ☆ すべては音楽から生まれる 脳とシューベルト (茂木健一郎／著 PHP研究所)
- ☆ 楽器からのメッセージ 音と楽器の人類学 (西岡信雄／著 音楽之友社)

